

著者 高岡 滋

出版記念

オンライン
トークイベント

水俣病と
医学の責任

隠されてきた
メチル水銀中毒症の
真実

高岡 滋

おすすめ!

アイリーン・美緒子・スミスさん

(環境活動家)

大井玄さん

(東京大学名誉教授)

柳田邦男さん

(作家)

大月書店

定価[本体2,700円+税]

36年間、水俣病患者を
診つづけてきた医師として
言わなければならないこと

「水俣病と医学の責任」の出版を記念して、本書について著者が対談で語ります。また、各界からの声も紹介し、参加者との質疑応答も行います。多くの方々のご参加をお待ちしています。

トークセッション

いま水俣病を語る意味 ～ ミナマタの経験が教えてくれるもの

高岡 滋 医師

(神経内科リハビリテーション協立クリニック院長)

×

馬渡耕史 医師

(吉野生協クリニック院長)

各界からの声

- 水俣病を抱える患者として
- 現代社会を考察する研究者として
- 裁判にかかわる弁護士として

2023年 2月 23日 14:00～15:30

- 本イベントは Zoom によるオンライン開催です (無料)。
- 事前のお申込み (お名前とメールアドレスの登録) が必須です。
- 2月22日までに下記リンク又はQRコードからお申込みください。
<https://kokc.jp/e/975ffbf8d35494ecaa86c5ed4dee21fe/>



※「こくちーず」のサイトが開きますので、お名前等を入力し「イベント参加」にチェックを入れ「申込み」ボタンを押してください。メールで Zoom アドレスをお知らせします。

- 主催 「水俣病と医学の責任」出版記念イベント実行委員会
- 連絡先 神経内科リハビリテーション協立クリニック (荒川) 電話 0966-63-6835

「水俣病と医学の責任」

この本を読まずに、もう水俣病を語ることはできない

推 薦

環境活動家

アイリーン・美緒子・スミスさん

高度経済成長の負の遺産、水俣病。SDGs が喫緊の課題である今こそ、この甚大な中毒事件に対する日本の医学と公衆衛生学の半世紀の怠慢を暴露する時。これは重要な書籍だ。

東京大学名誉教授

大井 玄さん

水俣病とその軌跡を見てきた者にはそれを伝える責任が生じる。本書はそれを見事に果たしている。

作家

柳田 邦男さん

被害者の苦しみを無視し、真実を歪めてきた行政（権力）と医学（権威）の汚辱を告発し、命の尊厳を守る未来の設計図を提示した衝撃的な本だ。

読者の反響

Amazon レビューへの投稿

正しいことがなぜ通らないのか？という怒りにまかせるのではなく、医師として、研究者として肅々と科学的に、そして長い歳月をかけて粘り強く、仲間との出会いも活かしながら、事実を証明していくストーリーに深く感銘を受けた。そして水俣病に関する重要なデータや論文が網羅された専門書としての意義も持った稀有な本である。権力者が組織防衛やお仲間を守るために、庶民をないがしろにしてしまうことのない世界を諦めたくない人、あるいはもう諦めてしまった人も、普通の人の一部の人たちの犠牲にならない世に向けて、なんとか希望の灯を紡いでいけるよう、是非この本を読んで欲しいと思う。

内科医師

原田〔正純〕先生の「水俣病」と同じくらいに、わかりやすいバイブルになると思います。……まとめは心に響きます。

脳神経内科医師

記載されているように「水俣病ほど有名であるにもかかわらず、実際の姿が知られていない病気はない」と思います。

精神科医師

大きな感動とともに、医師の一人ひとりが何をすべきか、深く考えさせられました。

臨床心理士

頭髪の水銀値やダートマス大のタイムラグ、患者同士の差別の話などは目から鱗でした。

ジャーナリスト

全公害に共通の構造を見ました。

弁護士

未だに解決の展望すら見えない水俣病問題について、「医学の責任」を中心に書かれた力作です。水俣病の判断条件の具体的誤り、医学者の誤り、医系技官の存在とその果たしている役割を実名をあげながら指摘し、未来に向けて水俣病から学ぶ視点を明らかにしています。

[著者紹介] 高岡 滋(たかおか しげる) 1961年山口県岩国市生まれ。山口大学医学部医学科卒業。順天堂大学にて神経内科研修を受け、2002年神経内科リハビリテーション協立クリニック院長。専門は、一般内科、脳神経内科、リハビリテーション科、精神科。ノーモア・ミナマタ国賠訴訟など各地の水俣病訴訟での原告患者側証人。